

Contents〈目次〉

●災害に備えて耐震化を進めています　1
●令和８年熊本地震の被災地に職員を派遣　1
●24時間水道水をお届けするために　3
●日常的に漏水の点検を！　3
●水道小話
　災害時に備えておきたい水ってどれくらい？　3
●令和７年度水道事業会計決算　4

鳥取市 No.82
水道局だより
2026.11.1
編　集　鳥取市水道局経営企画課広報係
電　話　0857−53−7811(代)
　　0857−53−7953(直)
ファクシミリ　0857−53−7802
鳥取市水道局ホームページ
https://www.water.tottori.tottori.jp/

連絡先

国安庁舎
電　話…0857-53-7811
ファクシミリ…0857-53-7802
南地域水道事務所
電　話…0858-76-3118
ファクシミリ…0858-85-0672
西地域水道事務所
電　話　0857-85-2526
ファクシミリ　0857-85-1819

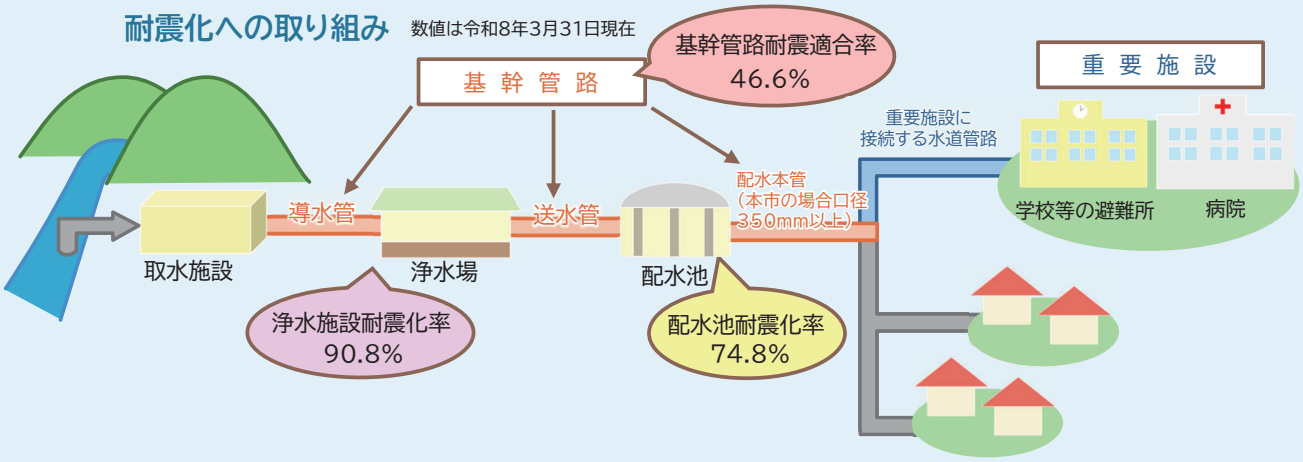
災害に備えて耐震化を進めています

令和８年７月に発生した熊本地震では、水道管路の破損等により約10万８千戸の断水が発生しました。管路の耐震化は、全国の水道事業体にとって重要な地震対策となっています。

本市では、被災すると断水が広域的に発生するなど影響が大きい基幹管路をはじめ、災害時に飲料水や医療用水を供給する指定避難所や病院などの重要施設につながる管路の耐震化を進めています。

耐震化への取り組み

数値は令和8年3月31日現在



水道管路が地震による被害を受けた際には、上流側から順に、破損箇所の特定・修復・通水を繰り返しながら復旧に当たります。管路や浄水場（水をつくる施設）、配水池（水をためる施設）などの耐震化も、上流側から優先的に進めています。

上流側の施設から整備を行っていくことは、被害を最小限に抑え、復旧時間を短縮するために不可欠ですが、多額の費用が必要です。今後も費用の確保に努めながら、計画的な耐震化に取り組んでいきます。

取組状況の詳細はこちら

問い合わせ先　経営企画課経営係　0857-53-7952

令和８年熊本地震の被災地に職員を派遣

令和８年７月28日、熊本県で最大震度７を観測する地震が発生しました。水道局は、公益社団法人日本水道協会の応援要請に基づき被災地に職員を派遣し、応急給水活動を行いました。



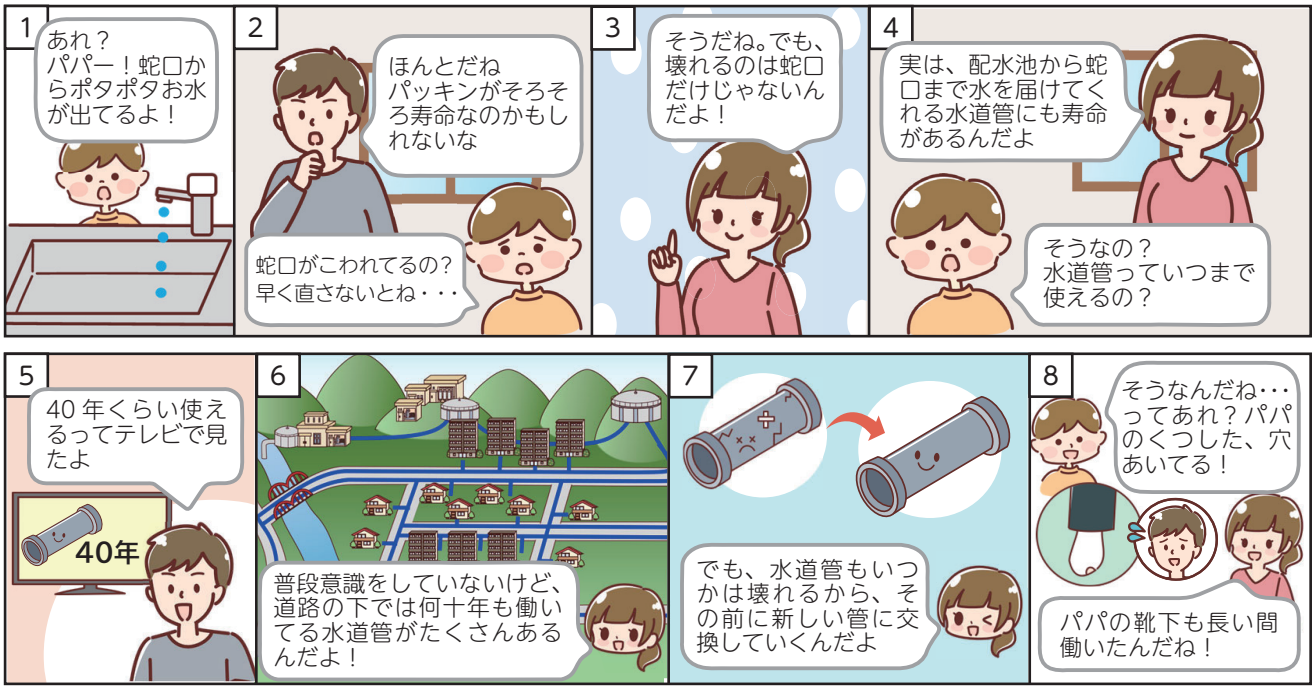


中学校（左）、応急給水所（右）での給水活動

●派　遣　先：熊本県八代市
●派遣期間：令和８年８月６日～８月13日
　　令和８年８月21日～８月31日
●派遣人員：職員15人（５班編成）
●派遣車両：給水車１台、サポートカー１台

シリーズ マンガで分かる！ 水道経営

～③水道管の寿命は？～



もっと知りたい 鳥取市の水道を支える施設

水道事業は装置産業

パパ：道路の下って見えないけど、たくさんの水道管が働いているんですよね。

職員：はい。大規模な設備を使って製品の生産やサービスの提供を行う産業を「装置産業」といいます。水道水を皆さんにお届けする水道事業は典型的な装置産業なんです。

パパ：電気事業やガス事業といった産業と同じなんですね。

ママ：ということは、安全に届ける設備の維持・管理に相当なお金がかかるビジネスですよね。

職員：そのとおりです。本市水道事業の資産約 1000 億円のうち約 700 億円が水道管です。その全体の長さは 1,771km にもなります。

パパ：資産の多くが水道管なんですね。それだけあると管理も大変そうです。

職員：そうなんです。老朽化したら新しいものへ交換する、この終わりのない作業を続けることは、水道事業の宿命と言えます。

パパ：終わりのない作業ですか…　水道管って確か、40 年くらいは使えるんですよね？

水道管の長寿命化

職員：本市の場合、材質や設置環境によって 40 ～ 100 年使うこととしています。

職員：技術開発によって 100 年使用できる水道管が実用化され、近年は古くなった管の交換時に採用しています。

パパ：100 年も使えるなんてすごいですね！
それだけ長持ちするならコストも抑えられそうですね。

職員：はい。ただ、現時点でも約 300km の水道管が交換時期を迎えています。

職員：一度に交換するためには時間や費用が足らないため、漏水リスクの高い管路を優先的に、毎年の費用が均等になるよう交換しています。

パパ：なるほど、長持ちする水道管を使ったり計画的に交換したり、いろいろ工夫されているんですね。

パパ：よくわかりました！ありがとうございました！

問い合わせ先　経営企画課経営係　0857-53-7952

24時間水道水をお届けするために

水道局は、みなさんの暮らしに不可欠で安全な水道水を、24時間365日いつでも安定してお届けできるよう努めています。

施設の常時監視

市内の配水量や水道施設は中央監視室で一括管理しています。職員が24時間リアルタイムで監視し、突発的な事故や施設の不具合に対応できる体制を整えています。

また、天候による配水量の増加を予測してあらかじめ配水池の水量を増やすなど、状況に応じた運用を行っています。

職員による24時間監視▶



現地確認と修繕

「水が出ない」「水が濁っている」といった通報を受けた際は、現場へ駆けつけ、原因調査や修繕などを行います。

また、管路の事故に備え、水道工事事業者の協力を得て、夜間や休日でもすぐに重機や作業員を手配できるようにしています。



◀公道漏水修繕工事

お願い　ー消火栓の使用についてー

消火栓を融雪等で使用されると、水道管内の水流が急激に変わって水が濁る原因となります。また、規模の小さい配水池のエリアでは、急激な水位低下により断水を招く恐れもあります。

水道水の適正な管理のため、火災時の消火活動や消火訓練以外で消火栓を使用しないようお願いします。

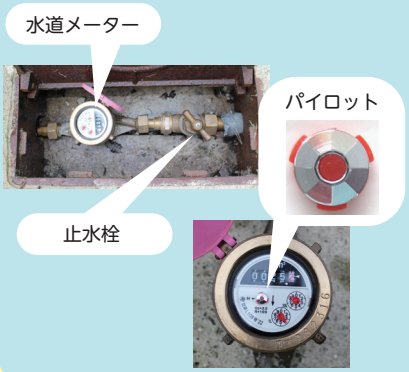
※消火訓練で消火栓を使用する際は、鳥取市危機管理課に事前の届出が必要です。

問い合わせ先　給水維持課管路維持係　0857-53-7933

日常的に漏水の点検を！

まずはメーターをチェック

蛇口を全部閉めて、メーターボックス内にある水道メーターを確認してください。パイロットが回転していればどこかで漏水しています。



漏水箇所が分かる

・台所、温水器、トイレなどの水漏れ
・敷地内の水たまり

給水装置の修理

給水装置の修理は、指定給水装置工事事業者に直接申し込んでください。

※ご家庭の水道工事や給水装置の修理は、水質の安全性を確保するため、水度局の指定を受けた「指定給水装置工事事業者」でなければ行うことができません。（蛇口のパッキン交換などの軽微な修理を除く）修理費用は、お客さまの負担となります。

修理業者一覧

漏水箇所が分からない

漏水調査の依頼

水道局にご相談ください。調査は、水道局が委託した業者が事前に日程調整した上で行います。

※調査は無料です。

【漏水調査の申込み】
料金課料金係：0857-53-7922（鳥取・国府・福部）
南地域水道事務所：0858-76-3118（河原・用瀬・佐治）
西地域水道事務所：0857-85-2526（気高・鹿野・青谷）

水道小話

災害時に備えておきたい水ってどれくらい？

1人当たり1日3リットル　最低でも3日分備蓄しておこう！

人が生きていくためには、1日およそ3リットルの水分が必要といわれています。地震などの発災直後は、交通手段の途絶や道路の渋滞などにより応急給水活動に時間がかかる場合があります。水道が使えない時に備えて、最低でも3日分の飲料水を備蓄しておきましょう。



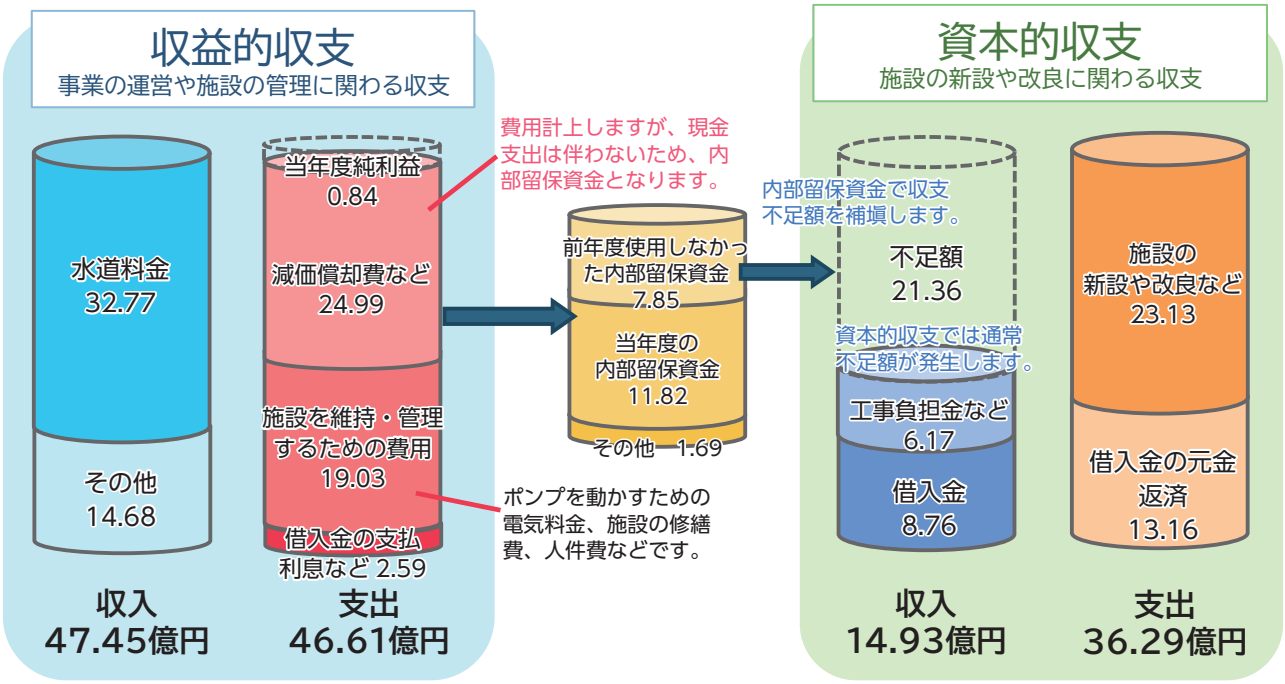
1人1日3リットル　×　最低でも3日分　×　家族の人数

令和７年度　水道事業会計決算

令和７年度水道事業会計の決算は、令和８年９月定例市議会で認定されました。

事業の運営や施設の管理に関わる収益的収支は、8400 万円の黒字を確保しました。施設の新設や改良に関わる資本的収支は、21 億 3600 万円の不足額を内部留保資金などで補填し、事業を実施しました。

―決算の内訳―



●減価償却費・・・施設の新設や改良に支払ったお金を、定められた耐用年数に応じて毎年費用化したものです。

実施した主な事業

管路の耐震化

●基幹管路である徳尾配水池系送水管の耐震化に継続して取り組みました。

●災害時に指定避難所となる重要施設の地震対策として、津ノ井小学校と米里小学校につながる管路の耐震化を行いました。



▲徳尾系送水管（口径 400mm）の布設

統合した旧簡易水道の整備

●国府町雨滝地区で整備を進めていた浄水施設が完成し運用を開始しました。



◀雨滝浄水場

その他の事業

●叶水源地で運用している取水ポンプ８台のうち、老朽化に伴って１台の取替えを行いました。



▲叶水源地取水ポンプ取替え

本市では、地震等の災害に強い施設への更新や老朽化対策を計画的に進めています。近年の水需要の減少や物価高に伴う運営経費の増加により経営環境が厳しさを増していることから、持続可能な水道事業経営のための具体的施策を定めた「鳥取市水道事業長期経営構想（2025-2035）」に基づき健全経営に努めるとともに、適切な時期に料金水準について検討を行うこととしています。

問い合わせ先
総務課財務係　0857-53-7913
経営企画課経営係 0857-53-7952

令和７年度水道事業決算・実施した主な事業例などについて、より詳しく知りたい方はこちら▶